

# Autonomous アクセス ポイントでの自動インストールの設定例

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[DHCP を使用する AutoInstall](#)

[例](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、LAN 対応の AutoInstall 機能を使用して自動的に Cisco Aironet Autonomous アクセス ポイント ( AP ) を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ワイヤレス Autonomous ソリューション
- Cisco IOS® ルータでの DHCP サーバの設定

### 使用するコンポーネント

- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(8)JA2 が稼働する Cisco Aironet 1200 シリーズ AP
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(11)T が稼働している Cisco 2800 シリーズ ルータ ( DHCP サーバとして使用 )
- 任意の TFTP サーバ

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

# 設定

## DHCP を使用する AutoInstall

LAN インターフェイスに対して DHCP を使用する AutoInstall 機能を使用すると、デバイスを初期化したときに新しいデバイスの設定が自動的に提供されます。DHCP は、設定情報を TCP/IP ネットワーク上のホストに渡すためのフレームワークを提供します。AutoInstall プロセスは、有効なスタートアップ コンフィギュレーション ファイルが NVRAM で見つからないときに開始されます。

AutoInstall プロセスには次の 2 つの主要フェーズがあります。

- IP アドレスの調達
- コンフィギュレーション ファイルのダウンロード

IP アドレスの調達：このフェーズでは、デバイスが DHCP サーバを探す DHCP 要求を送信します。DHCP サーバは、IP アドレスをリースすることで応答し、設定されたオプション（この場合 TFTP の情報）を返します。

IP アドレスを取得した後のコンフィギュレーション ファイルのダウンロード フェーズでは、AutoInstall プロセスが TFTP サーバからコンフィギュレーション ファイルのダウンロードを開始します。

AutoInstall の詳細については、『[LAN インターフェイスに対して DHCP を使用する AutoInstall](#)』を参照してください。

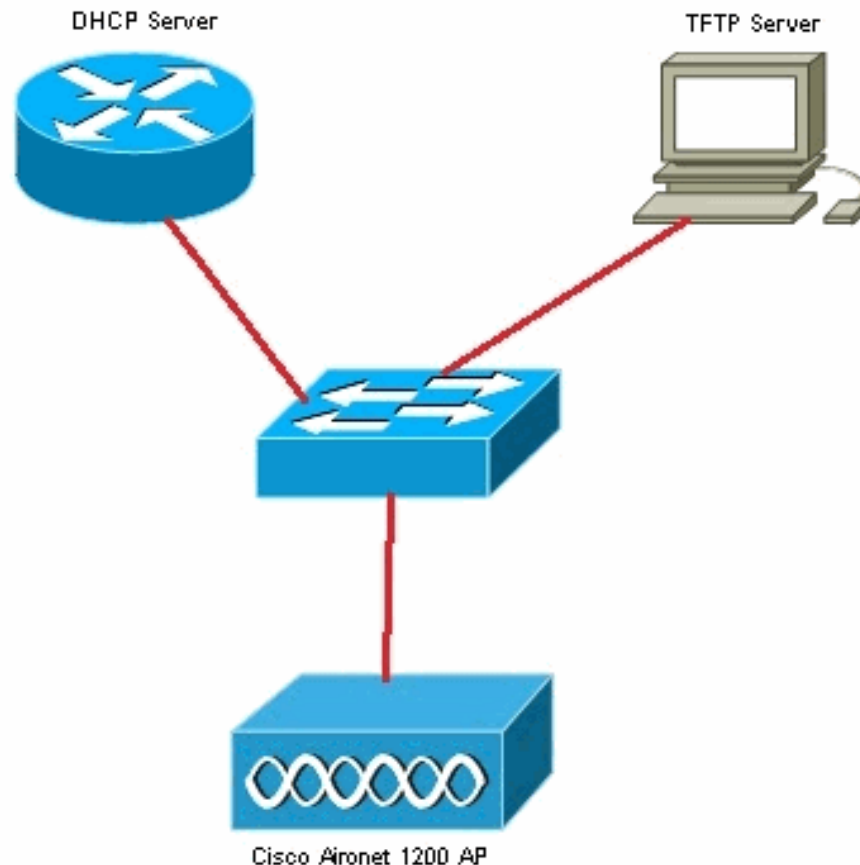
## 例

このドキュメントの例では、LAN 対応の AutoInstall 機能を使用して TFTP サーバに保存されているコンフィギュレーション ファイルをダウンロードする、事前設定済みの Cisco Aironet 1200 シリーズ Autonomous AP を使用します。

説明のため、Cisco IOS ルータを DHCP サーバとして使用し、TFTP サーバのルート ディレクトリに有効なコンフィギュレーション ファイルを保存します。

このドキュメントの例では、Cisco IOS ルータが DHCP サーバとして使用されています。次の IP アドレスを使用します。

- 10.78.177.16 : TFTP サーバ
- 10.78.177.30 : DHCP サーバ



Cisco IOS ルータがすでに設定され、ネットワーク上でアクティブであることを前提としています。ここでは、このドキュメントに必要な DHCP 設定のみを示します。

```
2800-ISR-TSWEB#show run
Building configuration...
```

```
Current configuration : 2029 bytes
!
!
ip dhcp pool autoinst
  network 10.78.177.0 255.255.255.192
  bootfile 1200_AP_config
  option 150 ip 10.78.177.16
!
```

次に、TFTP サーバをイネーブルにして、TFTP サーバのルート ディレクトリに有効なコンフィギュレーション ファイルを保存する必要があります。

この例では、TFTP サーバがイネーブルになっており、コンフィギュレーション ファイルがルート ディレクトリに保存されています。

## 確認

事前設定済みの Autonomous AP を起動し、AutoInstall 機能が期待どおりに動作するかどうかを確認する必要があります。

AP コンソールのログを次に示します。

```
*Mar 1 00:00:17.032: AUTOINSTALL
*Mar 1 00:00:32.216: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface BV11, changed state to up
*Mar 1 00:00:40.350: %DHCP-6-ADDRESS_ASSIGN: Interface BV11 assigned DHCP address 10.78.177.4,
mask 255.255.255.192, hostname ap
Loading 1200_AP_config .from 10.78.177.16 (via BV11): ![OK - 1885 bytes]
*Mar 1 00:01:03.662: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from tftp://10.78.177.16/1200_AP_config by
console
```

このログからわかるように、この AP は TFTP サーバからコンフィギュレーション ファイルを正常にダウンロードしました。これは、AP 上で **show run** コマンドを発行することによって確認できます。

```
1200_AP#show run
Building configuration...
```

```
Current configuration : 1885 bytes
!
version 12.3
no service pad
service timestamps debug datetime msec
service timestamps log datetime msec
service password-encryption
!
hostname 1200_AP
!
enable secret 5 $1$VhbX$6jqz9MceJfKZJ8HWmTbtn/
!
ip subnet-zero
ip domain name shc.org
ip name-server 167.94.17.92
!
!
<Snipped>
!
interface Dot11Radio0
 no ip address
 no ip route-cache
 shutdown
!
 encryption key 1 size 40bit 7 055C207F4663 transmit-key
 encryption mode wep mandatory
!
 ssid ceteam
!
 speed basic-1.0 basic-2.0 basic-5.5 6.0 9.0 basic-11.0 12.0 18.0 24.0 36.0 48.0 54.0
 station-role root
 bridge-group 1
 bridge-group 1 subscriber-loop-control
 bridge-group 1 block-unknown-source
 no bridge-group 1 source-learning
 no bridge-group 1 unicast-flooding
 bridge-group 1 spanning-disabled
!
```

## [関連情報](#)

- [Microsoft DHCP サーバを使用したワイヤレス LAN コントローラ \( WLC \) での AutoInstall の設定例](#)

- [基本的な無線 LAN 接続の設定例](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)